

国内クレジット認証委員会御中

## 実績確認概要書

平成 22 年 2 月 26 日

審査機関名 株式会社日本スマートエナジー

### 1. 排出削減事業計画の概要

排出削減事業名	有限会社メルヘンローズのバラ農園にて園芸用ヒートポンプを導入し、CO2 削減を図る事業
承認番号	JCDM-PJ0012
排出削減事業者名	有限会社メルヘンローズ
排出削減共同実施事業者名	昭光通商株式会社 (その他関連事業者 玖珠九重農業協同組合、全国農業協同組合連合会)
事業実施場所	大分県玖珠郡玖珠町大字岩室 1376 番地
事業の概要	有限会社メルヘンローズのバラ農園に園芸用ヒートポンプを導入し CO2 削減を図る事業。既設 A 重油焚暖房機による加温を、高効率ヒートポンプに置換え、A 重油より排出原単位の低い電力に動力源を置き換え、エネルギー使用量と温室効果ガス排出量を削減する。
排出削減量の計画	2008 年度 195 tCO <sub>2</sub> /年,2009 年度以降 577tCO <sub>2</sub> 年 (事業実施期間合計 2,503 tCO <sub>2</sub> )
国内クレジット認証期間	事業開始日 2008 年 12 月 3 日 終了予定日 2013 年 3 月 31 日
排出削減方法論	方法論番号 004 空調設備の更新

### 2. 本実績確認の対象期間

2009 年 4 月 1 日～2010 年 2 月 28 日 (第 2 回目実績報告)

### 3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

<b>排出削減量</b>	559tCO <sub>2</sub> (2009年4月1日～2010年2月28日)
--------------	--

### 4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていること	<p>排出削減量は、承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていることを確認した。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 承認排出削減事業計画に従いヒートポンプが導入されていること、および本実績報告期間において導入設備が稼働していることを、本実績報告期間に実施された稼働時間記録、エネルギー使用実績によって確認した。</li> <li>2) 事業開始日が承認排出削減事業計画通りであることを、事業者および共同実施者への質問やエネルギー使用実績データにより確認した。</li> <li>3) その他、本事業に承認排出削減事業計画から重要な変更がないことを確認した。</li> </ol>
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	<p>排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていることを確認した。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) モニタリング方法については、承認事業計画に従って、九州電力株式会社からの請求電力使用量を用い、承認事業計画に則ったモニタリング活動が実施されていることを確認した。</li> <li>2) モニタリング対象となる電力会社請求書に基づき、事業対象設備の電力使用量が正確に集計されている事を、請求書との突合を通じて確認した。</li> <li>3) 排出削減量の算定式および使用されている単位発熱量、排出係数等が方法論及び承認排出削減事業計画に従っており、算定結果が正確であることを確認した。</li> <li>4) その他、排出削減量の算定において重大な変更はなされていないことを確認した。</li> </ol>

算定期間が 2013 年 3 月 31 日を超えないこと	本実績確認の対象期間は、2009 年 4 月 1 日から 2010 年 2 月 28 日までであり、排出削減量を算定した期間が 2013 年 3 月 31 日を超えないことを確認している。
------------------------------	--

## 5. 特記事項

確認した排出削減量に相当する省エネ量について、原油換算 93.5k1 であることを確認した。